

平成26年度まちづくり座談会 結果概要と対応方針等 《比較的速やかな対応が可能な案件》

※平成28年2月時点

順番	総合計画 施策の大綱	テーマ	アイデア・提案内容	会場	所管課	対応方針	対応状況 ※今回記載
1	みんなが誇れるまちを育む 【行財政、自治・まちづくり】	住民参加の まちづくり	意見を出す場がない。インターネットを若者はちゃんと見ているので、町として活用してほしい。	かなん沢・中里 地域集会施設	政策推進課	町ホームページをリニューアルをし、より一層、皆様のご意見・ご提案などをいただきやすいようにし、積極的に情報の受発信に努めてまいります。	町ホームページのお問い合わせフォームメールにより、広くご意見を伺う機会を設けておりますが、更なる環境の向上に向け、定期的に見直してまいります。
2	その他	松田町へ人を 呼び込む 魅力づくり	転出者へのアンケートを定期的に行い、転出した理由を確認してみたいかがか。	役場	政策推進課	過去、限定的に実施していましたが、ご提案を踏まえ、本年の9月より町民課窓口にてアンケートを再開しました。	平成27年4月より細かい分析を可能にするため、内容を変更して実施を継続しております。
3	安全で心地よい環境を育む 【都市基盤・生活環境】	住民参加の まちづくり	地域の一時避難所を知らない人もいるので、しっかりPRしてほしい。	役場	総務課	今年度ハザードマップを作成いたします。また、皆様には自助・共助の面から、自主防災会での情報共有もお願いいたします。	平成27年3月に一時避難所を記載したハザードマップを全世帯に配布し、その説明会を町内6会場で実施いたしました。また、平成27年9月には町内9会場で実施した土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）説明会において、一時避難所の説明を行っております。
4	安全で心地よい環境を育む 【都市基盤・生活環境】	住民参加の まちづくり	防犯パトロールの回数を増やして欲しい。パトロールカーによる見回りは、住民の自主的な活動よりも効果がある。	店屋場地域 集会施設	総務課 観光経済課	再度、警察によるパトロールの強化を申し入れるとともに、防犯カメラの増設について27年度予算への計上を予定しています。	防犯カメラの設置につきましては、プライバシーの問題等があることから、当面はパトロールにおいて対応いたします。なお、平成28年1月29日に立ち上げました防犯ボランティア連絡協議会において、パトロールについて松田警察署と意見交換をし、対応方法について確認いたしました。
5	安全で心地よい環境を育む 【都市基盤・生活環境】	住民参加の まちづくり	防犯灯の整備を進めてほしい。(同様の要望あり)	店屋場地域集会 施設/かなん 沢・中里地域集 会施設	総務課	防犯灯は、自治会が必要に応じて設置しております。なお、新規の要望も含めて今年度中の全灯LED化を進めています。	防犯灯LED化を実施いたしました。なお、平成27年度からの設置要望箇所については、優先順位を検討し、予算の範囲内で随時整備を進めてまいります。
6	元気と心かよう安らぎを育む 【健康・福祉】	住民参加の まちづくり	老人クラブの人数が減ってきているので、PRしてほしい。	仲町屋地域 集会施設	福祉課	高齢者人口は増えている一方で、老人クラブの会員は減っています。老人クラブは、自主組織であり、老人福祉法に高齢者の社会参加・生きがい対策の推進組織として位置づけがされおり、社会福祉協議会が事務局を務めるなど支援しています。老人クラブ、社会福祉協議会に働きかけ、会員募集PRを支援します。	敬老会や地域の茶の間でPRいたしました。また、平成27年12月に行われた自治会長連絡協議会でもPRいたしました。
7	安全で心地よい環境を育む 【都市基盤・生活環境】	その他	町内にベンチが少ない。	役場	観光経済課	設置する場所にもよりますが、商店街でのことであれば、商工振興会の意向を踏まえて必要に応じた対応を図っていきます。	小田急線新松田駅北口のベンチ設置については小田急電鉄と交渉しましたが、安全・防犯上の理由から不可能との回答を得ております。継続して検討をしてまいります。
8	安全で心地よい環境を育む 【都市基盤・生活環境】	松田町へ人を 呼び込む 魅力づくり	河川沿いにベンチが欲しい。富士山が良く見える場所もあり、町の魅力を高めることができるのではないかと思います。	店屋場地域 集会施設	観光経済課	川音川親水公園内の数カ所程度にベンチが設置できるよう検討してまいります。	川音川親水公園内（河川区域）においては、管理上の問題等で設置が困難であるため、改めて場所を検討してまいります。
9	創造性豊かな活力を育む 【産業】	その他	中津川沿いの公衆トイレの看板を目立つようにしてほしい。また、内面の塗装を含めて、そろそろ整備をお願いしたい。	宇津茂地域 集会施設	観光経済課	既設看板は前方の植栽により見えにくいため、設置場所も含めて検討します。塗装は他の公衆トイレの状況や優先順位を決めて、対応していきます。	看板については植栽を剪定し、見えやすいよう改善を図りました。

順番	総合計画 施策の大綱	テーマ	アイデア・提案内容	会場	所管課	対応方針	対応状況 ※今回記載
10	創造性豊かな活力を育む 【産業】	「縁結びの町」をキーワードとしたまちづくり	はなじよろ道のPRに力を入れてほしい。	虫沢地域 集会施設	観光経済課	町ホームページに掲載しているほか、新たにパンフレットを作成し、PRしていきます。	町ホームページに掲載しているほか、活用している観光パンフレットでも紹介させていただき、積極的なPRを展開しております。
11	創造性豊かな活力を育む 【産業】	その他	桜まつりの際に、食事をするところが少ない。祭り中だけでも、お店（商店など）が開いてほしい。	役場	観光経済課	桜まつりでのにぎわいが町内にも行きわたる仕組みを、商工振興会、飲食店組合と話し合っていきます。	第18回の桜まつりにおいては、商工振興会や飲食店組合にご意見を伝えました。今後も継続して賑わい創出に向けた調整をまいります。
12	創造性豊かな活力を育む 【産業】	その他	桜まつりの際に有人の案内所が欲しい。	役場	観光経済課	有人の案内所を新たに設けることは人件費などの費用面を考えると難しいと思われます。駅前の各店舗に案内も含めた営業をお願いしていきます。	第18回の桜まつりにおいては、駅前の各店舗に案内も含めた営業をしていたらよかったら、お願いいたしました。
13	創造性豊かな活力を育む 【産業】	松田町へ人を呼び込む魅力づくり	駅前で西丹沢の情報などを提供して、ハイカーを引き付けてみてはいかがでしょうか。	城山地域 集会施設	観光経済課	小田急電鉄との連携を深め、新たな集客方法を検討していきます。	小田急電鉄が発行する「丹沢・大山フリーパス」や、沿線で実施する「のんびりハイク&ウォーク」における連携を強化していただけるよう取り組んでいます。
14	みんなが誇れるまちを育む 【行財政、自治・まちづくり】	「縁結びの町」をキーワードとしたまちづくり	卓球台を置くなどして、空き店舗を人が集まるスペースとして活用できないか。	沢尻地域 集会施設	観光経済課	空き店舗を地域コミュニティの場として活用することもひとつではありますが、まずは、お店を開いていただく場所として考えていきたいと思えます。	空き店舗の活用としましては、補助金等の支援策により店舗としての入居を最優先に考えますが、「お休み処新松田」など、地域サロンとしての活用も図っているところであります。
15	自然豊かな美しい環境を育む 【自然・景観】	松田町へ人を呼び込む魅力づくり	川音川の環境整備をお願いしたい。草や木が生い茂り、これから台風シーズンを迎えるにあたり不安がある。	茶屋地域 集会施設	まちづくり課	毎年、県西土木で環境整備を実施していますが、再度、要望します。	県西土木事務所では河床整理を計画的に実施しておりますが、引き続き要望はいたします。今年度につきましては、国道255号線松田橋付近まで完了いたしました。引き続き上流に向かって河床整理が行われる予定です。
16	安全で心地よい環境を育む 【都市基盤・生活環境】	その他	町道11号線に老木がたくさんあり、電線が危ない。桜の会で処理したものもあるが、まだ何十本もある。	虫沢地域 集会施設	まちづくり課	現地を確認し、電線に接している箇所は電力会社に連絡します。	パトロールにおいて危険な箇所は東電に依頼しましたが、まだ危険な箇所がありますので、引き続き依頼いたします。
17	自然豊かな美しい環境を育む 【自然・景観】	その他	中丸地区在住だが、プラスチック容器のゴミ出しが2週間に1回しかないのが不便である。せめて、1週間に1回にしてほしい。	沢尻地域 集会施設	環境上下水道課	分別項目の細分化を含め、収集体系について経費なども含めて検討します。	収集回数・日程は、品目ごとに、世帯あたりの平均的な排出量やごみステーションの集積量等を考慮して決めております。プラごみの収集回数は、平成26年度の収集実績で、排出量15.350/世帯（期間：2週間）で、概ねスーパーのレジ袋で2袋に収まる量であるため、2週間に1回の収集としております。町は、循環型社会の構築を目指す観点から、特に減量に力を入れ、効率的な収集とリサイクルを図るため、当面は現在の収集回数を維持したいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
18	未来をひらく人と文化を育む 【教育・文化】	「縁結びの町」をキーワードとしたまちづくり	寄に芸術家などが住んでいるので、庁舎内やホームページでの掲載など、芸術・文化面での充実に繋がらないか。	町屋地域 集会施設	教育課	文化芸術をはじめとした活力のある人材を確認することから始めます。	寄在の芸術家の方々が「松田作家の会」として活動していることを確認し、その会に平成26年度の文化祭で作品を展示していただきました。庁舎内での広報や、ホームページでの掲載については、個人の意向もあるので、意見を聞きながら確認してまいります。

順番	総合計画 施策の大綱	テーマ	アイデア・提案内容	会場	所管課	対応方針	対応状況 ※今回記載
19	未来をひらく人と文化を育む 【教育・文化】	住民参加のまちづくり	チャレンジデーは周知不足だったと思うので、どういうものなのかよくPRしてほしい。また、種目が限られていたので、歩いて通勤する方や自治会での体操なども対象にするなどして、より多くの人が参加できるようにしてみたいかがか。全体的に、自治会との連携不足であると感じた。	河内児童センター	教育課	今回のチャレンジデーは、初の試みであったことなどから、時間的な制約をかなり受けた中での開催となり、ご協力いただいた皆様にも大変負担をおかけいたしました。 いただいたご意見につきましては、反省点として、次年度に反映させます。	多くの町民に参加してもらうために、広報、ホームページの掲載や、2回にわたって回覧板で周知いたしました。また、朝、夕方に分けて新松田駅でのPRや、防災行政無線を利用して参加の呼びかけ、のぼり旗や横断幕の掲示、事業所へ直接出向き協力依頼するなど、より多くの人が参加できるように、さまざまな取り組みを行いました。 自治会との連携についても行政協力員連絡協議会で依頼を行い、連携を図りました。
20	みんなが誇れるまちを育む 【行財政、自治・まちづくり】	住民参加のまちづくり	行政が町民の協力の申出に対して、非協力的である。回答もこちらが催促しない限りいただけない。今時、これだけ不誠実な行政の対応は珍しい。お互いの利益になるのであるから、他の自治体のようにボランティアと協働してほしい。（文化センターに対する意見）	町屋地域集会施設	教育課	生涯学習をサポートする窓口を開設しました。ボランティアをはじめとする地域の活力ある方々と協働していきます。	平成26年10月15日から町民の生涯学習の機運を醸成するため、生涯学習サポートセンターを開設し、学習・スポーツなどの講座、祭り・イベントへの参加、各種団体・サークルへの入会などの生涯学習活動をしてみようとする時に役立つ情報や、サポートする方を紹介しております。 また、町民の方々にスポーツ、文化などの各種事業の運営に携わっていたなど、今後も協働した取り組みを行ってまいります。